



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月4日

東

上場会社名 株式会社エムケイシステム 上場取引所 東
 コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 竹本 清志 TEL 06-7222-3394
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,281	1.2	65	—	64	—	42	—
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		40百万円(—%)	2025年3月期第3四半期		△197百万円(—%)			
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
2026年3月期第3四半期	円 銭		円 銭					
2025年3月期第3四半期	7.79		—					
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		△36.13						

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円		百万円		%	
2025年3月期	2,020		693		34.0	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 687百万円 2025年3月期 667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年3月期3Q | 5,428,000株 | 2025年3月期 | 5,428,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期3Q | 506株 | 2025年3月期 | 506株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2026年3月期3Q | 5,427,494株 | 2025年3月期3Q | 5,427,494株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は
監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しを背景に緩やかに回復しています。企業のDX推進や省力化投資の需要は堅調で、ITシステムやクラウドサービスへの投資意欲も継続している一方、物価上昇によるコスト増や金融市場の変動には注意が必要です。先行きは、雇用・所得環境の改善や政策効果により回復が期待されるものの、企業収益の足踏みや人材不足が課題となっています。

当社グループが属する情報サービス業界では、クラウドサービスやSaaSの普及を背景に、給与計算・勤怠管理・社会保険手続など労務実務を支えるシステムのデジタル化が進展しています。生成AIやRPAの活用により、電子申請対応や帳票作成の自動化が広がる一方、法改正対応や個人情報保護への要求も高まっています。こうした環境下、正確性とコンプライアンスを担保しつつ、社会保険労務士業務や企業の労務管理を効率化する柔軟で拡張性の高いサービス提供が求められています。

このような状況下、当社グループは前期にリリースした「社労夢FOREVER」の拡販を主軸に、顧客ニーズに応じた上位プランへのアップセルおよび他関連商品へのクロスセルを積極的に推進し、お客様の業務効率化や人的資本の高度な活用を支援することで、継続的な付加価値の提供と顧客満足度のさらなる向上を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は売上高2,281,236千円（前年同四半期比1.2%増）、売上総利益969,753千円（前年同四半期比16.1%増）、営業利益65,862千円（前年同四半期は143,919千円の営業損失）、経常利益64,987千円（前年同四半期は153,544千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益42,268千円（前年同四半期は196,077千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、連結ベースで6.2%（前年同四半期は△28.1%）、当社単体では12.9%（前年同四半期は△2.4%）となりました。

第2四半期（中間期）決算短信にて説明した収益構造は、当第3四半期連結会計期間においても想定どおり推移しており、原価低減や業務委託費の見直しといった収益構造の改善施策を継続したことにより、連結営業利益は第2四半期連結累計期間と比較して黒字幅が拡大いたしました。

社労夢事業は当第3四半期累計期間を通じて安定的に利益を計上しており、CuBe事業においても赤字幅は縮小する中、安定した社労夢事業の収益がCuBe事業の赤字を補完する構造となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は黒字へと転換いたしました。

なお、CuBe事業については、契約形態および検収時期の関係から、売上計上が下期、とりわけ第4四半期に集中する傾向があります。当該四半期においては、既受注済案件の売上計上を予定していることから、通期では黒字での着地を見込んでおります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(社労夢事業)

社労夢事業では、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合、一般法人向けに、社会保険・労働保険・給与計算等の手続きを支援する業務ソフトウェアを提供しております。主力製品である「社労夢（Shalom）」シリーズを中心に、「マイナンバー管理システム『マイナボックス』」や「WEB年末調整システム『eNEN』」など、各種クラウドサービスを展開しています。

働き方改革やテレワークの推進により業務効率化へのニーズが高まる中、社会保険労務士市場にとどまらず、一般法人市場においてもシステム導入への関心が増加しております。一方で、競合他社による新規参入が相次ぎ、価格競争の激化が見込まれる厳しい市場環境が続いている。

このような状況下、当事業では前期にリリースした「社労夢FOREVER」の安定稼働によるサーバ・サポート費用の抑制が奏功し、安定した営業利益を計上しております。また、費用削減策のみならず、本社所在ビル2階に「社労夢セキュリティ&AIサポートオフィス」の開設を予定し、安定稼働の確保および顧客利便性向上に資する投資も行っています。引き続き新製品開発の取り組みや原価低減への対応を通して収益構造の改善に努めてまいります。

以上の結果、社労夢事業の売上高は1,800,751千円（前年同四半期比1.3%増）となり、そのうち、ストック収益であるASPサービス売上高が1,695,751千円（前年同四半期比2.2%増）、システム構築サービス売上高が55,528千円（前年同四半期比2.9%減）となりました。営業利益は141,492千円（前年同四半期は80,199千円の営業損失）となり、当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は7.9%（前年同四半期は△4.5%）となりました。

(CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門を対象に、業務プロセスの効率化を目的とした個別カスタマイズ型フロントシステムの受託開発を行っております。また、大手企業向け受託開発で蓄積したノウハウを活用し、中小企業向けに利便性を重視したクラウドサービス「GooooN」の提供にも注力しております。

フロントシステムの受託開発においては、大企業や自治体等からの新規案件を中心に順調に受注が積み上がりました。当第3四半期累計期間においては、第1四半期に発生した一部プロジェクトの想定工数超過による赤字案件の影響は残るもの、赤字幅は縮小いたしました。下期偏重、とりわけ第4四半期に売上計上が集中するCuBe事業においては、第4四半期に当第3四半期累計期間までに受注した案件の売上計上を見込み、通期では黒字の着地を見込んでおります。

以上の結果、CuBe事業の売上高は488,116千円（前年同四半期期比0.7%増）、営業損失は83,277千円（前年同期は72,618千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額29,116千円が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ247,557千円減少し、1,265,437千円となりました。主な要因は、売掛金の減少377,792千円、現金及び預金の増加123,173千円となっております。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ172,676千円減少し、755,285千円となりました。主な要因は、ソフトウェアの減少104,483千円、ソフトウェア仮勘定の減少29,797千円、のれんの減少29,116千円となっております。

以上の結果、総資産の残高は前連結会計年度末に比べ420,233千円減少し、2,020,722千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ186,952千円減少し、1,023,127千円となりました。主な要因は、買掛金の減少90,693千円、未払消費税等の減少41,099千円、賞与引当金の減少33,620千円、未払金の減少26,760千円となっております。

また、固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ252,356千円減少し、304,047千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少256,093千円となっております。

以上の結果、負債の残高は前連結会計年度末に比べ439,309千円減少し、1,327,174千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における株主資本の残高は、前連結会計年度末に比べ20,558千円増加し、687,986千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加20,558千円となっております。

以上の結果、純資産の残高は19,075千円増加し、693,548千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月7日に公表した「2025年3月期決算短信[日本基準]（連結）」に記載の内容に基づいております。

当第3四半期連結累計期間において、CuBe事業が赤字となっておりますが、第4四半期において受注済み案件の売上計上を見込んでおり、現時点では連結業績予想の修正は行っておりません。

今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	606,324	729,498
売掛金	811,363	433,571
商品	4,283	9,411
仕掛品	46,651	41,754
貯蔵品	560	341
前払費用	41,998	34,093
その他	1,970	17,395
貸倒引当金	△158	△628
流动資産合計	1,512,994	1,265,437
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	95,315	86,381
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	22,400	14,450
有形固定資産合計	117,716	100,831
無形固定資産		
ソフトウェア	553,913	449,430
ソフトウェア仮勘定	30,444	647
商標権	395	222
電話加入権	1,218	1,218
のれん	58,233	29,116
無形固定資産合計	644,205	480,634
投資その他の資産		
出資金	70	70
差入保証金	156,859	168,221
繰延税金資産	6,060	2,730
破産更生債権等	—	63
その他	3,049	2,797
貸倒引当金	—	△63
投資その他の資産合計	166,039	173,818
固定資産合計	927,961	755,285
資産合計	2,440,956	2,020,722

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	121,273	30,580
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	363,624	346,999
未払金	124,561	97,801
未払費用	15,178	24,694
未払法人税等	20,364	30,586
未払消費税等	81,276	40,177
前受金	100,588	93,589
賞与引当金	70,211	36,591
その他	13,000	22,107
流動負債合計	1,210,080	1,023,127
固定負債		
長期借入金	539,670	283,577
退職給付に係る負債	16,733	20,470
固定負債合計	556,403	304,047
負債合計	1,766,483	1,327,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	202,122	202,122
利益剰余金	246,695	267,253
自己株式	△499	△499
株主資本合計	667,428	687,986
非支配株主持分	7,043	5,561
純資産合計	674,472	693,548
負債純資産合計	2,440,956	2,020,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,254,152	2,281,236
売上原価	1,418,881	1,311,482
売上総利益	835,271	969,753
販売費及び一般管理費	979,191	903,891
営業利益又は営業損失（△）	△143,919	65,862
営業外収益		
受取利息	45	588
受取配当金	1	1
受取賃貸料	30,069	32,869
業務受託料	2,700	2,700
その他	2,135	5,491
営業外収益合計	34,950	41,651
営業外費用		
支払利息	7,288	9,169
賃貸収入原価	27,180	29,980
雑損失	9,429	—
その他	676	3,376
営業外費用合計	44,575	42,526
経常利益又は経常損失（△）	△153,544	64,987
特別損失		
固定資産除却損	—	27
臨時損失	38,537	—
特別損失合計	38,537	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△192,082	64,960
法人税、住民税及び事業税	1,791	20,844
法人税等調整額	3,407	3,330
法人税等合計	5,198	24,174
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△197,281	40,785
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,204	△1,482
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△196,077	42,268

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△197,281	40,785
四半期包括利益	△197,281	40,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△196,077	42,268
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,204	△1,482

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,776,644	477,507	2,254,152	—	2,254,152
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,212	7,104	8,317	△8,317	—
計	1,777,857	484,612	2,262,469	△8,317	2,254,152
セグメント損失 (△)	△80,199	△72,618	△152,817	8,897	△143,919

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,800,598	480,637	2,281,236	—	2,281,236
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	7,478	7,632	△7,632	—
計	1,800,751	488,116	2,288,868	△7,632	2,281,236
セグメント利益又は損失 (△)	141,492	△83,277	58,214	7,647	65,862

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	276,750千円	268,978千円
のれん償却額	29,116千円	29,116千円